

4年生保護者様

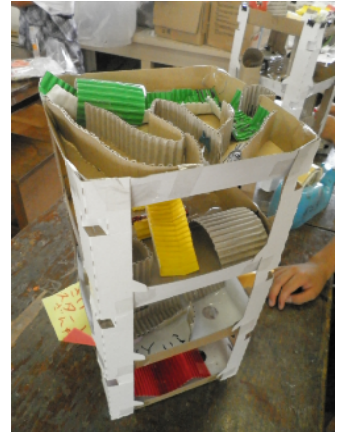


4年生No.4

八王子市立 館小中学校
図工専科 大木 紅葉

7月ももう中旬。早いもので今年も半分が終わりました。夏休みまでもう少しですね！

「コロコロガーレ」



7月19日（木）で1学期の図工の授業が終了しました。6月から取り組んでいる「コロコロガーレ」の作品も完成しました。

完成した作品を見てみると、トンネルの中に正しい道が隠されていたり、箱の外にもコースがあったり、モールとビーズを使って美しいアーチがかけられていたり、子供たちのアイディアが作品の中にたくさん溢れているのがわかりました。

一生懸命つくった「コロコロガーレ」の作品、是非ご家庭でも遊んでみてください！

図工の時間の素敵な小話

4年生の子供たちは、「図工が大好き！」と言ってくれる子が多いです。作品をつくっているときは楽しみながら活動していて、授業の挨拶や先生のお話の時は静かによく聞くことができ、授業に取り組む一生懸命さも伝わってきます。そんな4年生の授業の中で発見した、心温まる話を紹介します。

それは、半年前、子供たちが3年生の頃の話です。土粘土で動物のアパートをつくっていたことです。ある1人の男の子が自分の作品に対し、「なに、このグチャグチャな作品！」と言いました。どうやら、思い描いていたような作品はできず、グチャグチャになってしまったようです。周りに座っていた子供たちは、それを聞いて笑いました。その男の子も笑いました。

しかし、途中鑑賞をした際、一人の女の子がその作品を見て、こう言ったのです。「すごいね、この作品！崖みたいなアパートだね！」と。褒められた男の子は一瞬、目を丸くしましたが、すぐに嬉しそうに、「そうかなあ〜？」と言って微笑みました。

半年後・・・図工の授業で「〇〇の作品すごいね！」「△△の作品はこんなところが工夫されているね！」と、たくさんの作品を褒める声が聞こえました。その声の主は・・・半年前、自分の自信のない作品を褒めてもらった男の子でした。この子は友達に自分の作品を褒めてもらったことをきっかけに、どの子の作品も褒められる子になっていたのです。

褒めてもらえる人ってすごいですね。人のことを褒められる人も素敵ですね。子供が子供に与えるパワーって素晴らしいですね。